

地域再生計画の事後評価

1. 地域再生計画の概要

計画名称	高野山麓「へら竿」匠の里再生計画
事業主体	和歌山県、橋本市
計画区域	橋本市の全域
計画期間	平成18年度から平成22年度
支援措置	地域再生基盤強化交付金(道整備交付金)
認定日等	平成18年3月31日認定
計画趣旨	本市は、真竹や高野竹、矢竹の産地が近くにあるという地域特性から、「へら竿の里」として有名な地域である。本計画は、この特性を最大限に利用するものである。まずは本地域再生計画のシンボルとなる紀州製竿組合研究池「隠れ谷池」へのアクセス道や、農村集落や周辺地域産業との連携強化を図るための道路整備を一体的に進める。併せて、へら鮎釣りのイベントや農林業振興のための取組みを通じて本市を訪れる観光客を増加させ、人的交流の促進による地域の再生を目指す。

2. 目標の達成状況

大目標:地域産業の活性化と周辺地域への利便性の向上

	目標	指標	H18従前値	H22実績値	評価
目標1	地域産業の活性化	観光客数(キャンプ・釣り) 目標値:9,000人	8,181名	10,183名	○
目標2	市道清水西畑幹線及び広域農道を 中心とした周辺地域の利便性の向上	道路整備に関する満足度 目標値:40%	-	満足度:20.8%	×

3. 目標を達成するために行った事業(支援措置を活用した事業)

施設の種類	事業主体	事業期間	事業量	事業費	交付金
市道	橋本市	H18～H22年度	0.6km	1,086,871千円	543,436千円
広域農道	和歌山県	H18～H22年度	1.87km	1,444,500千円	834,757千円
合計				2,531,371千円	1,378,193千円

4. 目標を達成するために行ったその他事業(支援措置以外の事業)

○全国へらブナ釣り選手権大会の開催 ○へらブナ釣り大学の開催 ○わくわくへら鮎探検隊の開催
○橋本市農林業まつりの開催 ○都市農村交流事業支援

5. 総合評価及び今後の方向性

市道清水西畑幹線及び広域農道の整備により、隠れ谷池や農村集落へのアクセスが向上し、観光客数の増加に一定の効果があったと考える。一方、幹線道路以外の支線道路については、幅員が狭小な部分が多いため、道路整備に対する満足度は低く、支線道路の拡幅等が課題となっている。地域産業の活性化については、紀州へら竿が国の伝統的工芸品に指定されたこともあり、地域資源を生かした地域再生を継続して進めていきたい。